

● 草の根パートナー型

2015年度第2回 採択内定案件

| I. 提案事業の概要 | |
|---------------------|--|
| 1. 対象国名 | ブータン王国 |
| 2. 事業名 | ブータン西部キノコ生産農家の生活向上プロジェクト |
| 3. 事業の背景と必要性 | 西部には全国のシイタケ栽培農家500戸の内300戸、ヒラタケ栽培農家600戸の内300戸、マツタケ採取農家600戸の内300戸が居住していて生産量も高い。栽培農家からは優良な種菌の配布、頻度高い巡回指導、余剰収穫シイタケの加工方法のニーズがある。また、マツタケ採取農家は商品価値の高いマツタケの見分け方、鮮度保持方法、森林の管理方法の指導を受けたい。しかし、現状では国立きのこセンター（NMC）職員は対応できていない。農家のニーズに答えるため、野菜栽培などで地域を巡回している農業普及員にキノコ生産に係る指導ができるような技術を伝え、普及員が頻度高くモデル農家を巡回して個々の生産環境に適した指導ができる体制をつくることが求められている。 |
| 4. プロジェクト目標 | ブータン西部のキノコ生産モデル農家の生活向上に資するため、NMC職員の技術が向上し、農家への普及の組みが改善される |
| 5. 対象地域 | ブータン西部の5県、ティンブー、パロ、プナカ、チュカ、ワンデューボダンであり、これらの県ではシイタケなどのキノコ栽培、およびマツタケなどの野生キノコの商業的採取が盛んである |
| 6. 受益者層（ターゲットグループ） | 対象5県に配置されている農業普及員（約50名）およびブータン西部の食用キノコ栽培と野生キノコ採取のモデル農家をターゲットグループとする。モデル農家には、キノコ生産に意欲的に取り組む、その地域で指導的な立場にある農家、シイタケ栽培20戸、ヒラタケ栽培30戸、マツタケ採取30戸ほどを選ぶ。プロジェクト終了後には農業普及員やモデル農家からさらに個々の農家へ技術移転が波及することを旨とする。 |
| 7. 生み出すべきアウトプット及び活動 | <p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. NMC職員が農家へ配布する高品質のキノコ種菌を製造できるようになる 2. NMC職員が農業普及員へのキノコ生産技術指導手法を確立する 3. NMCおよび農業普及員の連携および農家への技術普及体制が強化される <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. NMCが種菌製造技術研修、種菌製造マニュアル作成、農家に配布して種菌のモニタリング、本邦研修を行う 2. NMCの年間計画に農業普及員への研修を組み入れる、研修教材を作って普及員の手持ち資料とする、NMCが普及員への研修をできるようにする 3. モデル農家を選定する、NMCおよび普及員がモデル農家を巡回指導し研修する。栽培Q&A集、害菌・害虫マニュアル、マツタケ生産のマニュアルを作成する。巡回ツアーでモデル農家の栽培事例を周囲の農家に紹介する。 |
| 8. 実施期間 | （西暦）2016年7月～2019年7月（3年0ヵ月） |
| 9. 事業費概算額 | 56,261千円 |
| 10. 事業の実施体制 | 琉球大学、協力団体、国立キノコセンター、農業局 農業普及員 |
| II. 応募団体の概要 | |
| 1. 団体名 | 国立学校法人 琉球大学 |
| 2. 活動内容 | ブータン現地での研修、普及方法指導、本邦研修 |